

TS870ユーザーコマンド説明

ユーザーコマンド参考例 (TS870__s d . t x t)

PS;MD<5+2, 1=MD>

MD6<5>

PC<5+2, 3=PC>

PC005<5>

IF<5+5, 5=IF>

TX<5>

RM<5+3, 4=RM1>

RX<5>

PC<5>

MD<5>

15, 5, 2

実機での確認がありませんのですべてコマンドマニュアルでの推測設定です。

実機でご確認、「TS870__s d . t x t」の修正をお願いします。

<内容の詳細>

1 : 現在モードの読出し

PS;MD<5+2, 1=MD>

・ ・ 送信 [MD], 0.5秒待機, インデックス2から1文字記憶, 受信先頭文字 [MD] (他の返信は無視)

最初のPSはリグが受信ポートのゴミ等でコマンドを正常に受信できない場合があるため、ダミーで送信しています。

MD モードの設定。				
	1	2	3	4
設定	M	D	MODE	;
読出	M	D	;	
応答	M	D	MODE	;

パラメータ 3桁目(1桁)					
0	NO MODE	1	LSB	2	USB
3	CW	4	FM	5	AM
6	FSK	7	CW-R	8	NO MODE
9	FSK-R				

(TS870 Command List.pdfより抜粋)

2 : チューニングモード設定

MD6<5>

・ ・ 送信 [MD6], 0.5秒待機 (返信は無視)

MD モードの設定。				
	1	2	3	4
設定	M	D	MODE	;
読出	M	D	;	
応答	M	D	MODE	;

パラメータ 3桁目(1桁)					
0	NO MODE	1	LSB	2	USB
3	CW	4	FM	5	AM
6	FSK	7	CW-R	8	NO MODE
9	FSK-R				

(TS870 Command List.pdfより抜粋)

3 : チューニングモードにおける現在の出力読出し

PC<5+2, 3=PC>

・ ・ 送信 [PC], 0.5秒待機, インデックス2から3文字記憶, 受信先頭文字 [PC] (他の返信は無視)

PC		送信出力(PWRつまみ)の設定。					
	1	2	3	4	5	6	
設定	P	C	PWR			;	
読出	P	C	;				
応答	P	C	PWR			;	

パラメータ
3~5桁(3桁) 010(min)~100(max) [W]

(TS870 Command List.pdfより抜粋)

4 : チューニング出力設定

PC005<5>

・ ・ 送信 [PC005], 0.5秒待機 (返信は無視)

PC		送信出力(PWRつまみ)の設定。					
	1	2	3	4	5	6	
設定	P	C	PWR			;	
読出	P	C	;				
応答	P	C	PWR			;	

パラメータ
3~5桁(3桁) 010(min)~100(max) [W]

(TS870 Command List.pdfより抜粋)

5 : 現在の周波数読出し

IF<5+5, 5=IF>

・ ・ 送信 [IF], 0.5秒待機, インデックス5から5文字記憶, 受信先頭文字 [IF] (他の返信は無視)

IF TS-870Sの状態を読み出す。(設定コマンドはありません。)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
I	F	;	表示周波数										スペース	
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
スペース			RIT周波数						RIT ON/OFF	XIT ON/OFF	スペース	メモリーチャンネル		
29	30	31	32	33	34	35	36	37	38					
TX/RX	MODE	ファンクション	SCAN ON/OFF	SPLIT ON/OFF	TONE ON/OFF	TONEナンバー		スペース	;					

パラメータ

3~13桁目(11桁) 表示周波数を1kHz オーダーで11桁表示。
例 00014175000..... 14.175MHz

14~18桁目(5桁) スペース

19~23桁目(5桁) RIT周波数と主を1Hz オーダーで合計5桁表示。
"+"は" "でも代用可
例 +5320 5.32kHz

29桁目(1桁)	0=RX	1=TX	
30桁目(1桁)	0 NO MODE	1 LSB	2 USB
	3 CW	4 FM	5 AM
	6 FSK	7 CW-R	8 NO MODE
	9 FSK-R		
31桁目(1桁)	0 VFO A	1 VFO B	2 MEMORY
35~36桁(2桁)	01~39 (p.28参照)		
37桁目(1桁)	スペース		

(TS870 Command List.pdfより抜粋)

6 : 送信の開始

TX<5>

・ ・ 送信 [TX], 0.5秒待機 (返信は無視)

RX TX RX...受信状態にする。TX...送信状態にする。(設定、応答コマンドのみです。)

1	2	3	1	2	3
R	X	;	T	X	;

設定

1	2	3	1	2	3
R	X	;	T	X	;

応答

パラメータ なし

(TS870 Command List.pdfより抜粋)

7 : SWR 値の読出し

RM<5+3, 4=RM1>

・ ・ 送信 [RM6], 0.5秒待機, インデックス3から3文字記憶, 受信先頭文字 [RM] (他の返信は無視)

RM				メーター選択 [METER] と SWR、COMP、ALCメーターの値読出し。				パラメータ						
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	R	M	メーター	;										
読出	R	M	;											
応答	R	M	メーター		メーター値									;

3桁(1桁)	NO SELECT	0
	SWR	1
	COMP	2
	ALC	3
4~7桁(4桁)	0000 ~ 0030	

送信時に、点灯しているドットの数をメーター値として読出します。従って相対的な値です。
(SメーターとRFメーターはSMコマンドです。)

(TS870 Command List.pdfより抜粋)

注：ここでの設定はリグ液晶表示のメーター種別設定で、読出しは「RM;」を送信すると「RM1XXXX; RM2XXXX; RM3XXXX;」と3つ返信される (RM1XXXXがSWR値)

・ ・ ・ 推測です (リグがありませんので、おそらく480と同じと思われます)

8 : 受信に移行

RX<5>

・ ・ 送信 [RX], 0.5秒待機 (返信は無視)

RX TX		RX...受信状態にする。TX...送信状態にする。(設定、応答コマンドのみです。)										
設定	1	2	3	1	2	3	パラメータ なし					
	R	X	;	T	X	;						
応答	R	X	;	T	X	;						

(TS870 Command List.pdfより抜粋)

9 : チューニングモード出力の復元

PC<5>

・ ・ 送信 [PC\$\$\$] (\$\$:③での受信文字列), 0.5秒待機 (返信は無視)

PC 送信出力(PWRつまみ)の設定。						
	1	2	3	4	5	6
設定	P	C	PWR			;
読出	P	C	;			
応答	P	C	PWR			;

パラメータ
3~5桁(3桁) 010(min)~100(max) [W]

(TS870 Command List.pdfより抜粋)

10 : モードの復元

MD<5>

・ ・ 送信 [MD\$] (\$:①での受信文字列), 0.5秒待機 (返信は無視)

MD モードの設定。				
	1	2	3	4
設定	M	D	MODE	;
読出	M	D	;	
応答	M	D	MODE	;

パラメータ
3桁目(1桁)

0 NO MODE	1 LSB	2 USB
3 CW	4 FM	5 AM
6 FSK	7 CW-R	8 NO MODE
9 FSK-R		

(TS870 Command List.pdfより抜粋)

* : SWR 読出し時の完了検出パラメータ

15, 5, 2 N, n、M

N : SWR 値がこの設定値以下になればSWRがOK確認の範囲に入った意味です

n : モーターを停止するSWR 値 (リグにより変わります)

M : Y a e s u = 0、 I C O M = 1、 K e n w o o d = 2 を指定してください

N:15、n:5は例としての値です・・・実機調査・メーカー問合せで決定が必要です。

N (SWRlow) は大まかにはSWR 値 2. 5 のリグ返信値を設定

この値がチューニング完了の上限値です。

n (SWRok) はほぼOKと思われるSWR 値 1. 5 程度のリグ返信値を設定

この値を下回るとモーターを停止してチューニング完了します。

調整完了で停止する条件はリグからのSWR 値がL o w 値以下であってO k 値になった場合、もしくはO k 値より大きくてもいったんL o w 値以下に下がってその後上昇に転じたとき完了停止します。